

○タイトル『千葉観光課 ちはなちゃんゼリー』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

○あらすじ

千葉県は外国人の観光客の少なさに悩んでいた。そこで外国人向け観光を専門とする『観光課』に県は任せるが、観光課は一番若い田宮に千葉県ご当地名物「ちはなちゃんゼリー」の新作」の発案を一任。渋々任された田宮はボブと一緒に「海外の人もあつと驚くような「ちはなちゃんゼリー新味」を考える。基本

は秋冬ニンジンを使ったゼリーだが、とんでもない味を思い付く。

果たして、新味とは？外人ウケするのかな？

シーンⅡ：千葉県庁内観光課オフィス

田宮：（書類を整理しながらため息をつく）外国人観光客が少ないって：これ、どうしようもないだろうなあ：。

ボブ：（ドアを勢いよく開けて）田宮くん！元気かい？今日も新しいアイデアが浮かんだかい？

田宮：（ボブの元気に圧倒されつつ）いや、まだ何も：。でも、どうしても何か考えないと：。

ボブ：（笑顔で）よし、そうだ！千葉の特産品、「ちはなちゃんゼリー」の新味を考えるのは

どうだ？

田宮…（驚いて）え、新味？でも、何を使えば…。

ボブ…（得意げに）基本は秋冬ニンジンだろ？それに、ちよつと冒険してみよう！どうせなら、外国人が驚くような味を考えよう！

シーン 2：調理室

（田宮とボブが試作を開始する。台所はカラフルな野菜と調味料でいっぱい）

田宮…（不安そうに）本当にこんなに色々混ぜて大丈夫なんですかね…。

ボブ…（自信満々）大丈夫、大丈夫！面白ければそれでいいんだよ！まずはニンジン、それから…（奇妙な調味料を次々と取り出す）

田宮…(驚きながら)えっ、チョコレート？マシユマロ？それに、カレー粉まで？

ボブ…(笑いながら)うん、これで外国人も驚くはずだ！さあ、混ぜよう！

シーン ☹ :: 試食イベント

(観光課が企画した試食イベントに集まる外国人たち)

外国人 ー…(興味津々)これが新しい「ちはなちゃんゼリー」か。面白そうだね！

外国人 ♪…(笑顔で)見た目は…奇抜だけど、試してみる価値はあるよ！

田宮…(緊張しながら)どうぞ、お召し上がりください…。

ボブ…(楽しそうに)大丈夫だよ、田宮くん！
ほら、みんな笑ってる！

(外国人たちがゼリーを口に入れ、驚きと笑
いが広がる)

外国人…(驚いた表情で)何これ！？ニンジ
ンとチョコレートがこんなに合うなんて！

外国人…(大笑い)カレー粉まで入ってるの
か！これは新しい体験だ！

シーン ✨ オフィスに戻って

田宮…(ほっとした表情で)やっぱり、面白い
味が成功の秘訣なんですネ…。

ボブ…(笑顔で)そうだよ！面白ければそれで
よし！これで外国人観光客も増えるはずだ！

田宮…(感謝の気持ちを込めて)ボブさん、ありがとうございます。これからも、もっと楽しいアイデアを考えましょう！

ボブ…(元気よく)もちろんだ！次はどんな冒険をしようか、楽しみだな！

幕

(終わり)